

Be A GIANT!! NEW BLUE WAVE.

WE ARE THE CHAMPIONS!!

学年主任メッセージ ～ JUST DO IT! Never Never Surrender! ～

7月になりました。例年であれば期末考査の時期となっていますが、今年に限っては1学期の中間地点のような感じだと思います。中間地点とはいえ中間考査はありません。月末の期末考査のみとなります。例年のことですが、3年生1学期の成績は進路選択の上で大きな意味を持ちます。誰かが代わりに受験してくれることはありません。「あの時ああしていたら云々」ということは自分自身にとっても、周囲にとっても非常に辛いことです。ですから、納得できる取り組みをすることが不可欠です。しっかりと取り組みましょう。欠席などすることが無いように、日ごろから体調管理に気を付けましょう。諦めるとライバルが得をするだけです。

保護者会、多数ご参加いただきありがとうございました。

例年とは異なる時期での保護者会となりました。天候が良くない中での開催となりましたが、200名近くの皆さまにご来校いただきありがとうございました。進路決定への日程も見えてきました。あとはやるべきことをやるだけの状況です。納得できる進路選択とするためには、「自分で情報を集めること」と「最後まで諦めないこと」の2点が不可欠だと思います。もちろん、受験は受験生だけでなく、健康面や経済面も含め保護者の皆さまのご支援があつてのものです。受験できるということは幸せなことです。生徒が「明石高校で良かった」との思いで卒業の日を迎えることができるよう、共に頑張っていければと思います。

「自分で情報を集める」

大手予備校をはじめ、多くのサイトで入試情報が発信されています。受験を考えている学校については必ずチェックしておきましょう。その際、特にフェイクニュースに振り回されないことが大切です。そのためには信頼できるサイトから情報を得るようにしましょう。また、今年は多くの学校でオープンキャンパスがweb上で実施されています。本来なら、実際に足を運び、進路先になるかもしれない学校を感じる事が大切なのですが、今年はそれができません。その分、今年は各大学とも工夫をして動画などでの情報発信に努めています。必ず、web上でも見ておきましょう。特に入試情報を調べることは不可欠です。見ることでモチベーションを高めることも大切です。

学校からもできるだけの情報提供に努めていますが、それを待つのではなく、自分からアクセスして考えるということが不可欠です。納得できる受験とするためには、人に言われたから云々ではなく、アドバイスを基に、最終的には自分で考えて、自分で判断して、自分の責任でチャレンジすることが大切です。

「諦めないこと」

受験はある意味不安なものです。「不安だ。自信が持てない。だからランクを下げる…。でも不安だ。ランクを下げる…」不安スパイラルに陥っていませんか。このようになるとライバルを利するだけになります。後に「できていたのに…」「受ければ良かった…」云々と後悔の念にさいなまれることになる…。とてもつらいことです。今は諦めるのではなく、後々に後悔しないようにやり切る時です。

現役生は秋からが勝負です。着実に取り組んで行けば、多少時間がかかっても実力がついてきます。不安に思うなら、その分しっかりと学習に取り組みましょう。安易に志望校のランクを下げると、一瞬の安心は得られるかもしれませんが、その後は不安スパイラルに陥ってしまいます。そのようにならないようにどのようにすべきか。そのヒントになるかもしれないコラムを見つけましたので掲載しておきます。参考にしてください。

納得できる進路選択となるよう、気持ちを強く持って取り組んで行きましょう。

特に、最後まであきらめずにチャレンジするれまでも伝えていますが、多くのメリットがあります。

学生たちに勉強法を指導する機会が多いが、その筆頭テクニックは「棚上げ法」である。何かを調べていて分からない時、一時的に棚上げて先へ進むことを言う。

30分ほど調べても埒があかない場合、さらに5時間費やしても分からないものだ。ところが、いったん棚上げて先へ進んでみると、いつのまにか解決していたりする。

この棚上げ法は、英文や難しい古典を読む際にも有効だ。辞書を引きながら一語一語調べていねいに訳していくと、根気が続かなくなつて時間切れになることが多い。このように途中で挫折してしまう勉強法を変えたいのだ。

いま英文を読んでいて、PHILOSOPHYという単語の意味が分からなかったとしよう。ここで全体を通読することを優先し、その単語には拘泥せずに先を読む。そのうち前後の文脈から意味

「棚上げ法」という科学的勉強法

鎌田 浩毅

が判別し、「考え方」のようなものではないかと思いつく。そして「哲学」という訳語に到達する。

勉強法で一番大事なことは完璧な達成ではなく、目的に応じた必要最低限の習得である。たとえば、研究者の世界ではデータが100%揃わなくても、論文発表しなければならぬ。一方、完璧であっても発表が他人より一日でも遅れたら、評価はゼロになる。よって不完全なデータでも、それを生かして成果を出すことにわれわれは勝負をかける。

人は誰でも完璧を好むが、勉強には「見切り発車」も大切なのだ。そして「棚上げ法」でうまくいくかどうかを、自分で「実験」してほしい。もし駄目だったら、直ちに交えればよい。実験しながら確かめるというのも、科学者の用いる方法だ。こうして自分に一番合う勉強法を編み出してほしい。

(京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

“あと少し”調べればチャンスが広がる！ここに注目“中期日程の活用”（保護者会配布資料と重複しますが…）

国公立大学の受験は、前期・中期・後期があります。ひとつの考え方ですが、この中でも“全てチャレンジ”ではなくて、“第一志望でチャレンジする学校”“抑えとする学校”と考えることが肝要です。一般には「前期と後期」で考えがちですが、実は、“中期”もあります。中期日程は、見送ってしまいがちですが、せっかくの機会があるわけですから活用しない手はありません。見送ってしまうのはMOTTA INAIです。保護者会での講演にもありましたが、「今年の高校3年生、余りに多くの変化がありかわいそうだと言われているが、昨年比で浪人は40%減、18歳人口も3万人減という状況があり、実は大きなチャンス。大きなチャンスをものにするためには、しっかりと情報を集めて、やり切ることが大切」になると思います

“あと少し”のチャレンジで世界を変えることができる可能性があります。諦めてはいけません。

ここで、進路指導の超ベテランの先生からいただいたアドバイスを紹介します。

※ 中期日程の活用

国公立大学は前期・中期・後期の3回受験することができる。

国立大学のほとんどは前期・後期であり、中期の全ては公立大学。



前期・後期をチャレンジして、中期を滑り止めとして活用することができる。

中期公立大学のほとんどはアラカルト方式（3科目、一部4科目）。



文Aで学習する教科・科目で受験することが可能。

難関私立大学の滑り止めとして活用することができる。

中期公立大学の多くは地方試験（大阪・岡山など）があり、遠くまで行かずに受験可。

※ よく受験する中期公立大学

文系：釧路公立大学（経） 高崎経済大学（経） 都留文科大学（文・教育） 長野県立大学（グローバルマネジメント・健康発達） 奈良県立大学（地域創造=観光・地域経済）
新見公立大学（地域福祉） 下関市立大学（経）

理系：公立小松大学（国際文化交流・健康医療） 兵庫県立大学（理・社会情報） 岡山県立大学（情報工） 小野田市立山口東京理科大学（工）

美術科：秋田公立美術大学 長岡造形大学 金沢美術工芸大学

前号の学年通信に記入していますが、皆さんが知らない公立大学も多くあったと思います。少し調べるだけで進路選択の幅が広がります。思わぬ機会が隠れているかもしれません。今のうちに調べて、納得してチャレンジできるようにやって行きましょう。

7・8月の主な予定

7/10（金） 放課後：進研模試（地歴） 15:25 までに着席 美術科：実技テスト

7/11（土） 進研模試 8:25 までに着席

* 大雨警報のため臨時休校となった7/8分の模試については別途連絡します。

7/15（水） 6限：学年行事（レクリエーション）

7/16（木） 美術科夏季作品展～7/22 明石公園パークギャラリー

7/27（月） 期末考査 ～7/31

7/31（金） 終業式・推薦入試説明会

8/ 2（日） 就職希望者保護者説明会

8/ 3（月） 就職ガイダンス

8/ 4（火） 午前：武蔵野美術大学オンライン説明会（美術科） 午後：登校日

8/17（月） 2学期始業式 40分×5時間授業～8/21 三者面談週間8/17～8/21（午後）

8/20（木） 全国高校軟式野球選手権大会応援ポスター展～9/2 明石公園パークギャラリー

8/24（月） 40分授業 ～8/28

8/30（日） 就職保護者会

“Catch the Wave!” “Make the Wave!”